

魔王の愛妻は愛されないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	魔王の愛妻は愛されないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	魔王の愛妻は愛されないを読んだことのある20代～50代の男女15名
調査期間	2025年4月12日～2025年4月14日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/mao_unoaisaihaaisrenai/

■アンケート項目

- Q1: 年代と性別を教えてください。
- Q2: 魔王の愛妻は愛されないを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	2人
30代女性	0人
40代男性	3人
40代女性	8人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2: 魔王の愛妻は愛されないを実際に読んだ感想を教えてください。

1話感想

王女エステルと王妃カタリナの違いに驚きました。カタリナはこの期に及んで私利私欲の為に動いているのに対し、エステルは腹をくって魔族と人間の友好関係構築の為に魔族の王ギルに嫁ぐと決意しました。人間性の違いが出ているな

あって感じました。ただ残念なことに、魔王ギルはエステルを女性として愛するというよりは、コマの一つとして見ている模様。このままだと結婚生活は不幸せなものになるでしょうし、どうにかならないかなって感じました。

王女が敵対していた相手へ嫁ぐという設定のストーリーだと、自国では虐げられていたのが敵国では一変して溺愛されるようになるパターンが昨今が多い印象ですが、本作のヒロイン・エステルは王妃以外には特に疎まれておらず、嫁ぎ先で歓迎してもらえないというパターンなので、先の展開が読めず興味を惹かれました。ギルとエステルの関係がどう変化していくのか、続きが楽しみです。

パーシーとエステルは恋仲だったわけではなさそうですが、かなり親しくしていたのは確かなようなので、敵国で冷遇されるだろう彼女を救おうとしたりするかもしれないと思いました。もしくは、ギルがエステルに対する態度を変えて彼女を愛するようになった場合、パーシーとエステルの仲が良いことを知って嫉妬する展開もあるのではないかと想像をかき立てられてワクワクしました。

2話感想

エステルがギルに嫁いでからの人間の国であるハゼルバード王国と魔族の国であるヴィルヘルムの日常が紹介されていましたが、ハゼルバードはかなりきな臭いって感じました。王は体調が悪そうですけど、本当にそれだけかと。邪魔者であったエステルがいなくなった隙に何か仕込んでいるんじゃないかって感じました。一方ヴィルヘルムは驚きました。民は魔族なので怖い見た目をしてはいますが、こっちの方が人間らしいんですね。ギルも真剣に政をしています。ただエステルに使えることになったミリィが不気味。ミリィは何か画策していそうですし、魔族の国も人間の国のようなゴタゴタがあるんだなって驚きました。ミリィが今後どう動くか注目したいです。

人間が魔族を嫌っているように魔族も人間を嫌っているという設定なので、夫であるギルも含めて誰一人として心を許せる相手がいないという状況でエステルが感じている不安が彼女の表情からヒシヒシと伝わってきて、胸が痛くなりました。人間に偏見がないというミリィが登場して、唯一の味方になってくれるのかなと思ったのですが、なんだか怪しい動きをしているので油断はできなそうです。ミリィの正体が非常に気になりました。

1話ではチラッとしか登場しなかったクレモンの人柄が明らかになり、ゆくゆくは王になるとは思えないダメぶりにハゼルバード王国の未来が心配になりました。エステルの父である国王陛下はきちんとした人のようですが、体調がかなり悪そうで、エステルが見舞う間もなく亡くなってしまう可能性も低くない気がします。ギルとの関係が改善されたとしても、祖国のこともエステルは無視できないと思われ、問題が山積みの現状をどう解決していくのか楽しみにになりました。

3話感想

今回のエピソードでは、ギルとエステルの心の距離がぐっと縮まったような感じがあって、何だか嬉しくなりました。その一方ではトロールがギルとエステルの仲を引き裂こうとしたり、緊迫感のある展開も味わえます。トロールは何か悪巧みをしていそうな雰囲気があるのですが、ギルとエステルの絆によって打ち勝って欲しいと思いつつ、ドキドキしました。

ハゼルバード王国も国王セドリックやエステルを支持する勢力と王妃カタリナを支持する勢力があるようですが、魔族もみんながみんな魔王であるギルを支持しているわけではない点がリアルだと感じました。意外にもミリィが早々に罠を仕掛けてきましたが、そのおかげでギルがエステルのことを心配する展開になったので、結果的に仲が深まるのではないかと期待しています。

エステルが嫁いできた時はかなり冷たい態度だったギルですが、エステルの心情を思いやってくれたり優しい一面が垣間見えて、ときめきました。これまでは現状に対して悲観的で、被害者意識が強い印象だったエステルもギルとの会話によって気持ちを切り替えることができたようで、グッと2人の距離が縮まりそうな予感がしてワクワクしました。

4話感想

このエピソードでは、牢にとらえられたミリィの罪を、何とか軽くしようとしてあげるエステルの優しさが伝わってくるのが印象的でした。しかし、そんなエステルの優しさとミリィの思いはすれ違ってしまい、結構切ない展開に進んでいくのはちょっと予想外でした。ギルも含めて、みんな切ない気持ちや葛藤を抱えているのが目立つ場面が多かった気がします。

ミリィは若い女性なので、エステルを陥れようとした動機は政治的なものや人間に対する恨みというよりもギルと結婚したことへの嫉妬かなと予想していましたが、最初は曖昧にされていた理由が最終的にはきちんと明らかになってスッキリ

しました。ミリィはエステルが存在がなくてもギルと結ばれることはない立場だったようですが、もっと身分が高くてもギルを慕っている女性がいる可能性は高いと思うので、今後もエステルを敵視する女性が登場しそうだと思いました。

エステルもギルもお互いに歩み寄って相手に対する理解を深めなくてはと考えるようにはなりましたが、しばらくは素直になれなかったりタイミングが合わなかったりですれ違うのではないかと予想していたので、2人が肉体的に結ばれたことが意外でちょっと驚いてしまいました。しかし、ミリィに向かって発した言葉を運悪くギルが聞いてしまうというアクシデントが起こってしまったため、やはりきちんと想い合う仲になるのはまだまだ先のようです。このことが原因で2人の関係が拗れてしまうのか、続きがとても気になりました。

5話感想

このエピソードでギルの優しさやエステルのおおらかさが特にわかったのもその部分がとにかく良かったですね。今まで結構冷めた雰囲気を出していたギルですが、何となくエステルにそこはかとなく優しく接しているようにも見えてとても好感が湧きました。最初の出会いの場面に比べるとなんとなく本当の夫婦のようにも見えてきたので、このまま関係を深めて互いの愛情を確かめ合って欲しいですね。

この作品のメインキャラギル魔王がとにかく凛々しくて格好いいですね。エステルと一緒に他愛もない話をしている時はどこか柔らかい顔を適度に見せてくれるのですが一度仕事となると一気に顔つきが変わり緊張感のある凛々しい顔つきになるのでその点が興味深いです。でも魔王という立場にいますので、そうになってしまうのは仕方ないのかもしれませんがね。ある種切り替えがはっきりしているのもとても魅力的です。

実は神経質だったという意外な一面がギル魔王の性質にあったことがわかったので、その点がとても面白かったですね。なんとなく魔王ですから、そういうところは大雑把なのかなと思っていたら正反対でした。エステルがそのことを聞いて意外そうな反応を示していたのも可愛かったです。やっぱり勝手な先入観でギル魔王のことを色々決めてしまっていたということは読み手の側にもあったかも知れませんね。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス